

保護者 各位

鹿児島市立西伊敷小学校
校長 石塚 宏志

夏休みにおける家庭での新型コロナウイルス感染症対策等について（お願い）

このことについて、本県では新型コロナウイルス感染症のクラスター等が発生し、九州でも福岡県、沖縄県に次いで、3番目に多い感染者数となっております。また、全国においても1日の感染者数が1,000人（7月29日、30日）を超えるなど感染者が増加傾向にあり、なお深刻で、非常に厳しい状況となっております。

本校におきましては、1学期間、「学校における新しい生活様式」を基に、感染症予防に努めてまいりました。保護者の皆様方のご理解とご協力のおかげにより、明日から無事に夏休みを迎えられることに対しまして、心から感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今までに経験したことのない夏休みとなります。この1か月間は、今まで以上に気を緩めず、緊張感を持って、下記のとおり徹底した対策等を行っていただきたいと考えておりますので、留意事項をご確認くださいようお願いいたします。

子どもたちやご家族の皆様が、健康で安全な夏休みを過ごすことができますよう職員一同、心より願っております。

記

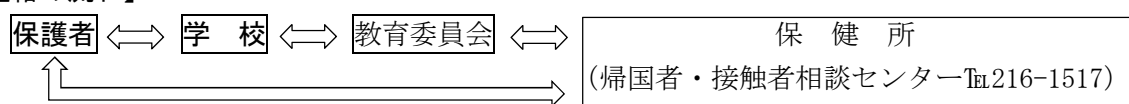
1 新型コロナウイルス感染症対策等の徹底について

- (1) 毎朝、自宅で検温し、健康観察を十分行ってください。体調が悪い場合は外出を控えてください。
- (2) 外出時や人混みの多い場所では原則マスクを着用させください。また、手洗い・顔洗い・うがいの徹底や咳エチケットの励行、手指消毒や部屋の換気を行ってください。なお、熱中症対策として、気温・湿度が高い場合や負荷がかかる作業や激しい運動を行う場合は、十分な距離（2m）をとった上で適宜マスクを外すなどしてください。また、マスク着用時には渇きを感じにくいため、喉が渇かなくても十分な水分補給等を行ってください。
- (3) 密集・密接・密閉の3密を避け、『新型コロナウイルス感染症対策～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組』（裏面参照）を基に、感染防止に努めてください。
- (4) 感染症に関する正しい知識や感染症を理由とした偏見やいじめの防止、パソコンやスマートフォン等の適切な使用（情報モラル教育）について、ご家族で十分話し合ってください。
- (5) 早寝早起きを心がけるとともに、免疫力を高めるため十分な睡眠やバランスのとれた食事、適度な運動や規則正しい生活に心がけてください。

2 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供への対応について

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供について、保護者が学校に直接電話連絡するようお願いいたします。なお、保護者からの情報につきましては、プライバシー保護等を守り、対応しますのでご安心ください。

【連絡の流れ】



3 その他

- (1) 今年度は1か月の短い夏休みとなります。かけがえのない「生命」について、ご家庭でじっくり考える絶好の機会ととらえ、家族と過ごす楽しい有意義な夏休みをお過ごしください。
- (2) 出校日は8月21日（金）です。笑顔で元気に登校できることを楽しみにしています。
- (3) ご家庭で困ったことや相談事等ございましたら、学校・学級担任へご連絡ください。

裏面参照

- 資料「新型コロナウイルス感染症対策～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組
 (文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課)

参考

保護者の皆様へ
新型コロナウイルス感染症対策
 ～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

1 毎日の健康観察

- ・毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
- ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- ・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。



2 手洗いの励行

- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。
 (手指消毒薬の使用も可)



3 咳エチケットの徹底

- ・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

○「密閉」の回避

- ・こまめな換気
 気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

○「密集」の回避

- ・身体的距離の確保
 飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人の距離を確保すること。

○「密接」の回避

- ・マスクの着用
 外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。
 室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。



★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士や家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。